



春の七草を詰めたパックを箱に入れる作業などに追われている＝豊後高田市

春の七草が 出荷ピーク

豊後高田市

【豊後高田】豊後高田市臼野の北崎農園で、「春の七草」の出荷作業がピークを迎えている。単独農家の出荷数では日本有数。今季は約46万パックを全国に発送する。

春の七草を入れる七草が

ゆは年末年始の食事で疲れた胃腸を整える効果があるとされる。1月7日に1年間の無病息災を願って食べる。

農園では30年以上前から栽培しており、現在は露地とハウス合わせて約10畝。

10月初めから約1カ月かけて種をまき、今月中旬から従業員とアルバイトら毎日200人前後が収穫と調整、パック詰めをしている。

北崎昌靖専務(46)は「質量ともに例年並み。日本の食文化を守る意味でも、ぜひ食べてほしい」と話している。

(大崎優志)

大分合同新聞 2022年12月31日(土) 朝刊 11面

